

株式会社 協和製作所

2023年度 環境経営レポート

対象期間
2023年1月～2023年12月



作成日：2024年03月24日
改訂日：

ごあいさつ

株式会社協和製作所は、1965年1月の設立以来、エンジニアリングプラスチック部品の製作に取り組んでまいりました。

そのプラスチックが環境に与える影響を少しでも小さくなればと、エコアクション21の認証を取得し、毎年地道に環境負荷の低減を実行したいと存じます。

2023年1月

代表取締役 村松 孝志

株式会社 協和製作所

環 境 経 営 方 針

環境保全が経営の重要課題であることを踏まえ、環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

当社のプラスチック部品加工の事業活動における環境負荷の低減のため、行動指針を次のように定めます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 環境目標を定め、実施計画を立て、継続的改善に努めます。
3. 具体的な取り組みとして次のことを推進します。
 - ① 電力とガソリンの削減
 - ② 廃棄物削減
 - ③ 水道水の削減
 - ④ 製品及びサービスにおける環境配慮
4. 当社の全ての従業員にこの環境方針の周知と環境意識の向上を図ります。

制定日 2007年1月5日

改定日 2022年1月27日

□ 登録事業所の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
株式会社協和製作所
代表取締役社長 村松 孝志
- (2) 所在地
本社・工場 大阪市淀川区加島1丁目22番15号
第二工場 大阪市淀川区三津屋南3丁目18番17号
第三工場 大阪市淀川区加島1丁目22番11号
- (3) 環境保全関係の責任者及び担当者
責任者 製造部:藤井 茂
TEL 06-6302-4649 FAX 06-6308-2091
- (4) 事業の規模
製品出荷額 4億3323万円
従業員 39名(パート含む)
工場延べ床面積(本社・工場及び第二工場・第三工場合算) 1089㎡

□ 認証・登録の対称組織・活動

登録事業者名:株式会社協和製作所

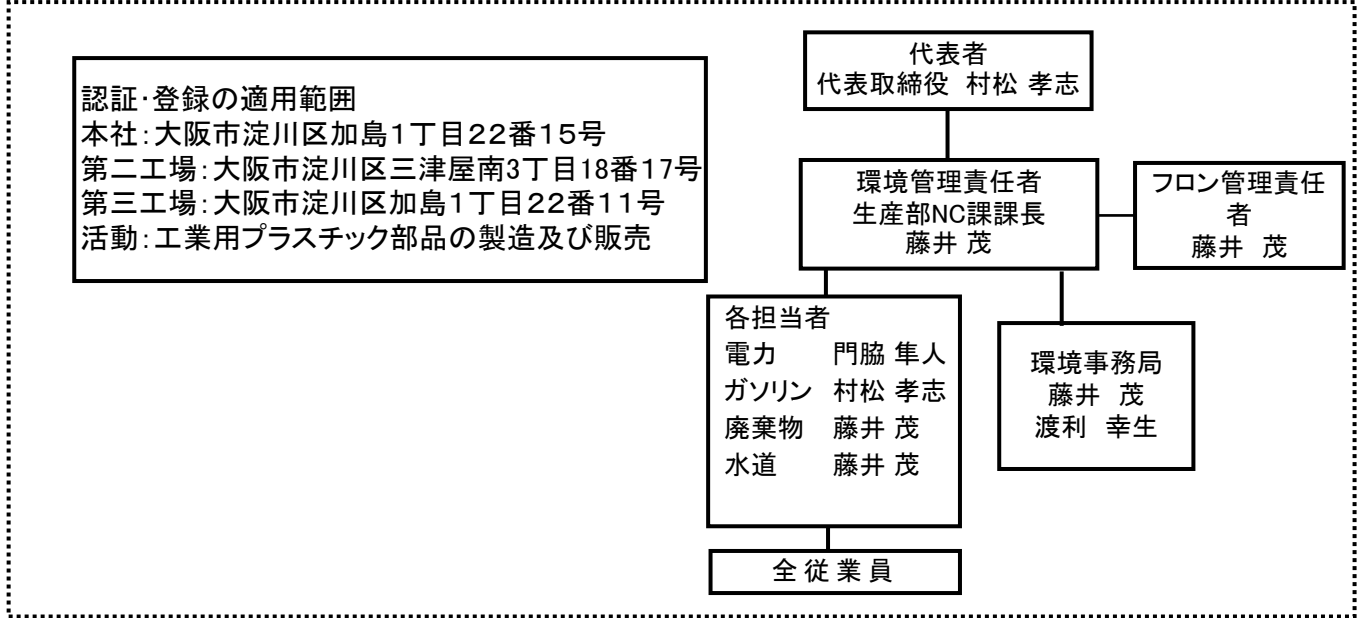
対象事業所:本社・工場及び第二工場、第三工場

対象外 :なし

活動 :工業用プラスチック部品の製造及び販売

株式会社協和製作所 環境経営システム組織図

更新日 2022/1/27



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システムの実施及び管理に必要な人、設備、費用、時間能技術者を用意 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境目標の設定を承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 環境経営レポートを承認
環境管理責任者	・ 環境経営システムを構築し、実施し管理 ・ 法規制等の要求事項登録簿を承認 ・ 環境活動実施計画書を承認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境経営システムの実施 ・ 環境方針の周知
環境事務局	・ 環境管理責任者、EA21推進会議の事務局 ・ 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・ 環境活動実施計画書原案の作成 ・ 環境活動実施計画の実績集計 ・ 環境活動レポートの作成 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
担当責任者	・ 各担当に関する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・ 特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・ 各担当の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・ 各担当の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・ 環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□ 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2006年 (基準年度)	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素排出量	kg-CO2／年	136,786	90,806	87,780	83,038
電力消費量	KWh／年	295,047	247,151	263,212	246,810
産業廃棄物量(廃プラ)	kg／年	42,300	26,366	30,763	31,386
排水量	m ³ ／年	676	386	386	383
ガソリン使用量	L／年	5,325	2,441	2,503	2,671
燃費	km/L	8.50	9.58	8.87	7.37

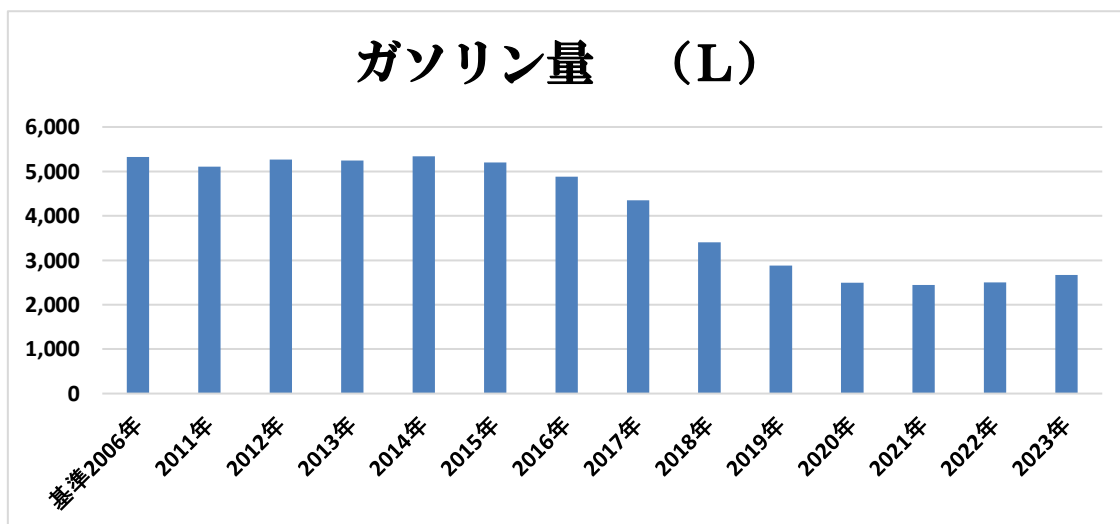
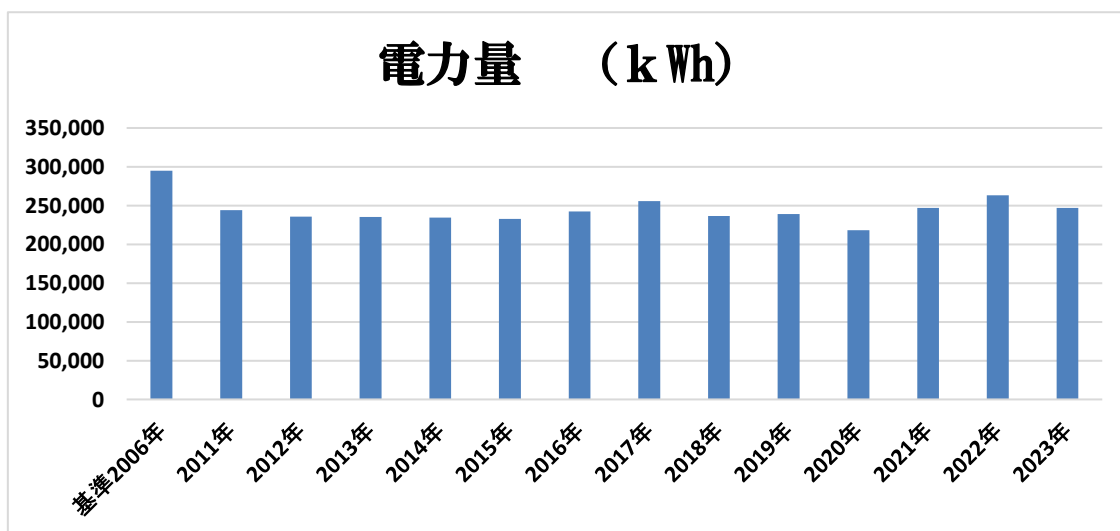
ガソリンについては、2008年度より目標追加 2007年度を基準年度とする。

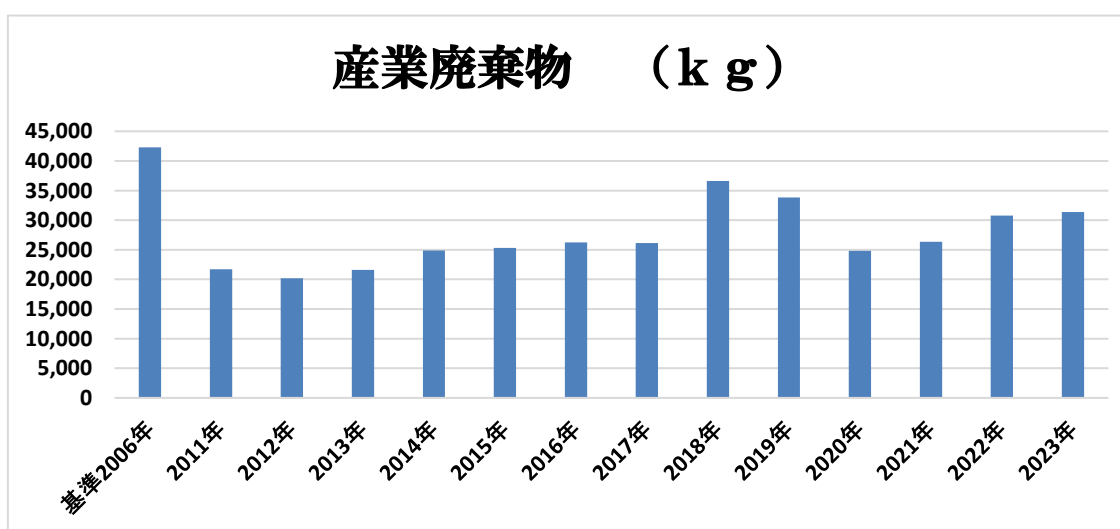
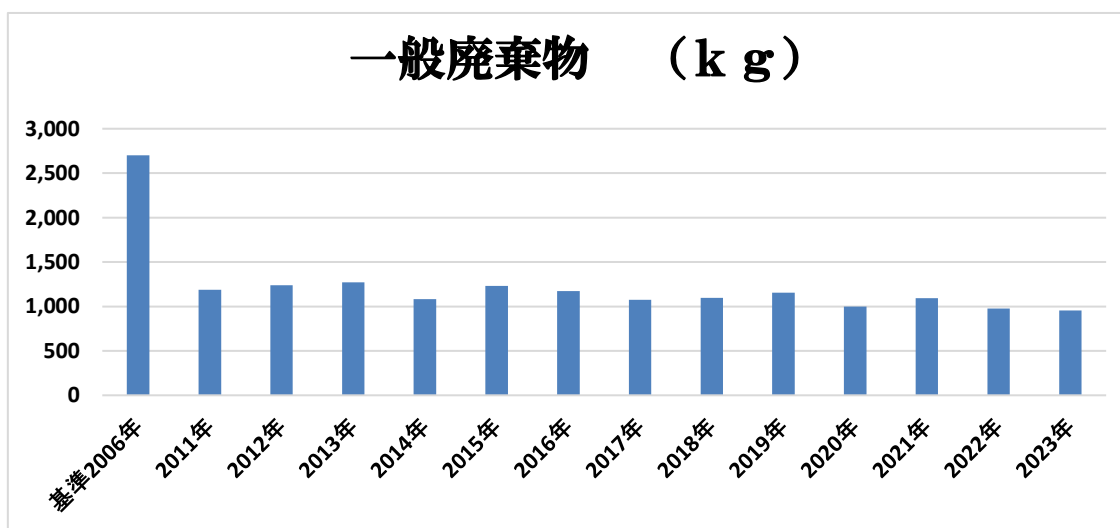
燃費については、2010年度より目標追加 2009年度を基準年度とする。

注) 2006年度は、関西電力の二酸化炭素排出係数0.378kg-CO2/kWh

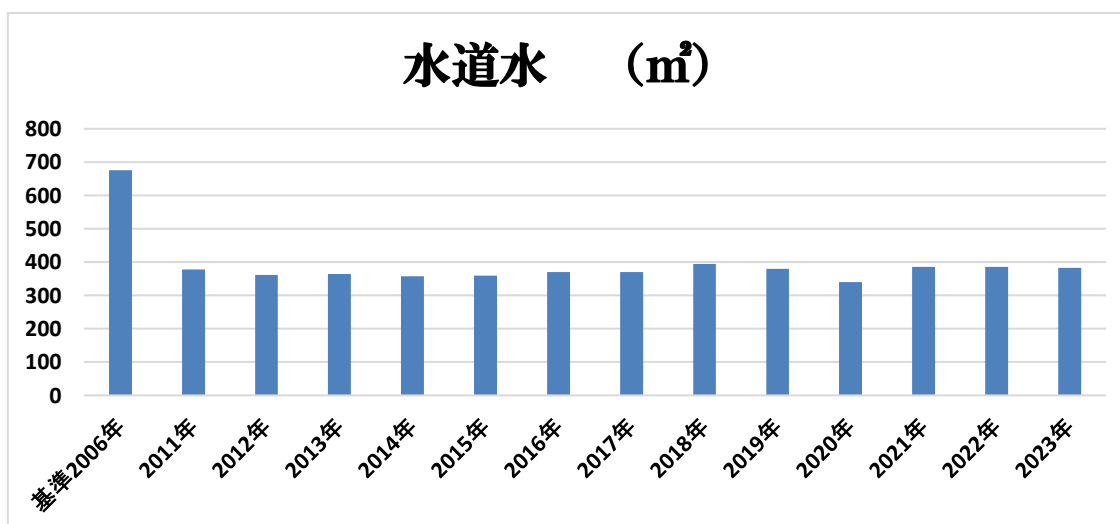
2021年度は、0.334kg-CO2/kWh(2018年度の関西電力の調整後排出係数)

2022年度からは、0.311kg-CO2/kWh(2022年度の関西電力の調整後排出係数)を使用しています。

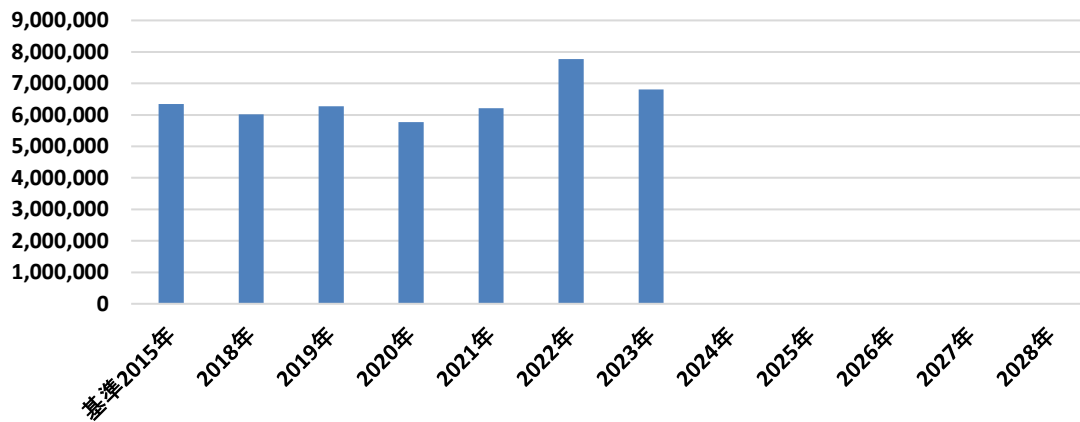




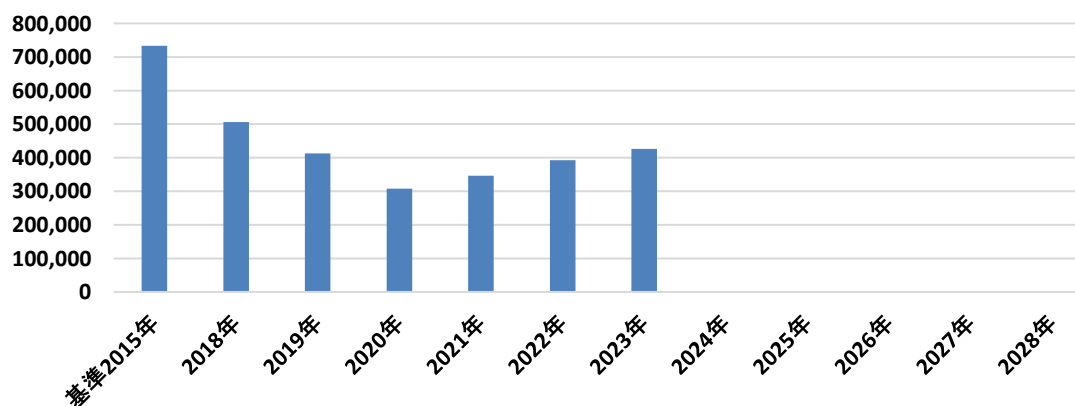
* 2018年度以降の廃プラの削減率が下がっているのは、従来業者が中国でリサイクルしていたものが中国に輸出できなくなったため、産業廃棄物として処理することになったため



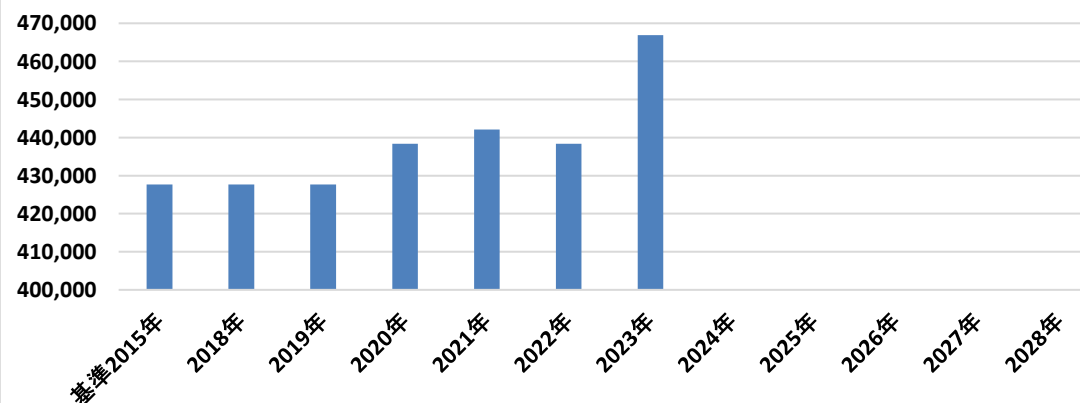
電力使用料金 (円)



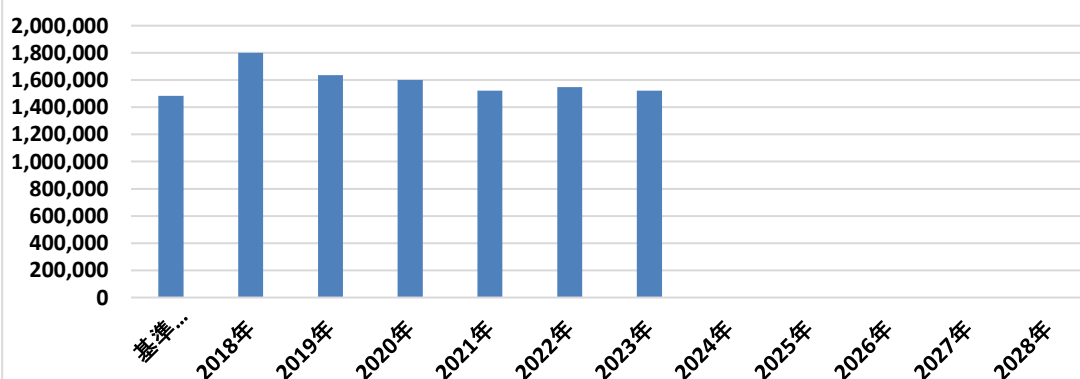
ガソリン使用料金 (円)



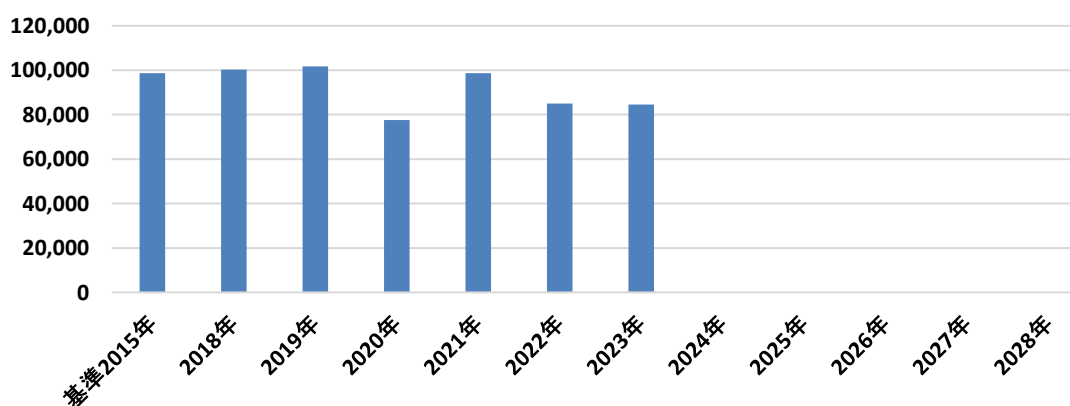
一般廃棄物廃棄料金 (円)



産業廃棄物廃棄料金 (円)



水道水使用料金 (円)



□ 環境目標及びその実績

項目		2006年 (基準年度)	2022年度 (実績)	2023年度		2024年度 (目標)	2025年度 (目標)
年度				(目標)	(実績)		
電力の削減	使用量(kWh)	295,047	263,212 △10.8%	253,740 △17%	246,810 △16.3%	243,590 △17.5%	243,590 △17.5%
(参考)目標設定項目の二酸化炭素 排出量(kg-CO2)		111,528	81,859	76,160	76,758	75,756	75,756
社内生産高1万円 当りの使用電力量	kwh/万円	11.48	8.39	8.3	8.62	8.53	8.53
ガソリンの削減	総量(L/年)	5,325	2,503 △53%	2,450 △54%	2,671 △50%	2,609 △51%	2,609 △51%
(参考) 目標設定項目の二酸化炭素 排出量(kg-CO2)		12,364	5,811	5,688	6,201	6,057	6,057
燃費の向上(km/L)		8.50	8.87	10.00	7.37	9.00	9.00
産業廃棄物の削減	廃プラ総量 (kg/年)	42,300	30,763 △27.3%	30,456 △28%	31,386 △26%	30,879 △27%	30,879 △27%
一般廃棄物の削減	総量(kg/年)	2,700	978 △63.8%	972 △64%	956 △65%	918 △66%	918 △66%
節水	総量(m ³ /年)	676	386 △42.9%	379 △44%	383 △43%	378 △44%	378 △44%
製品及びサービスに関する環境配慮		展示会等での切削加工の環境負荷のアピール 簡易包装への取り組み 生分解性材料の加工					

- * 各項目下段の%は基準年比を示す。
 * 社内生産高＝製品出荷額(売上高)ー(材料費+経費)
 * 2022年度以降は、2022年度の関西電力の調整後排出係数0.311を使用しています。

□ 環境活動の取り組み計画と評価

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
電力の削減 ・省エネ目標説明 ・昼休みの消灯及びエアコンOFF ・クールビズ・ウォームビズ運動 ・冷房28℃ 暖房20℃ ・エアコンフィルターの定期清掃 ・室温測定 of 継続 ・水銀灯交換時省エネタイプに変える ・不良発生率20%ダウンに取り組む ・継続品の作業効率UPに取り組む ・工作機械及び各種機器の入れ替えの時、省エネタイプに変更する ・LED照明の採用 ・エアリークの定期点検の実施	基準年度:295,047kWh 目標 :253,740 kwh 2006年度比 -17% 実績 :246,810kwh 2006年度比 -17%	目標達成 今年度は2022年の売上よりも低い水準でしたので必要以上に電力を消費しなかったのも達成に繋がったものと思います。売上が多い年であっても電力量減、目標達成も出来る様に目指していきます。
	社内生産高1万円当りの使用電力量 基準年:11.49kwh/万円 目標 :8.27kwh/万円 基準年度比 -28.8% 実績 :8.62kwh/万円 基準年度比 -25%	目標未達成 今年度は忙しい機械とそうでもない機械もあったりと、まばらだったのも社内生産高割合に関係し未達成になってしまいました。引き続き無駄な事を省いて目標達成を目指していきたいと思います。
産業廃棄物の削減 ・廃棄物削減目標説明 ・廃棄材料の分別 ・金属類の分別回収 ・不良発生率前年度比-20%削減 ・端材の利用拡大 ・定尺からの取り数が良くなる加工方法を考える	産業廃棄物の削減 基準数値 42,300kg 目標 :30,456kg 基準数値比 -28% 実績 :31,386kg 基準数値比 -25.8%	目標未達成 今年度の目標は未達成でしたが年々加工方法も変わってきていますので、今後も引き続き切削ゴミを減らす加工を徹底していきたいと思っています。
一般廃棄物の削減 ・資源ごみの回収 ・裏紙使用の推進 ・マイ箸運動の促進 ・紙コップの使用量削減	一般廃棄物の削減 基準数値 2,700kg 目標 :972kg 基準数値比 -64% 実績 :956kg 基準数値比 -64.6%	目標達成 目標に向けて全員がしっかりと活動してくれた結果です。後は、前年度の仕事量に比べれば今年度は少なくなったので稼働時間も減った分目標達成が出来たのかと思います。

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
節水 ・水道水削減目標説明 ・節水呼びかけ ・水道の元栓を絞る	基準年度 :676㎡ 目標 :379㎡ 2006年度比-44.8% 実績 :383㎡ 2006年度比-43.3%	目標未達成 生活排水のみの使用なので日々の積み重ねが目標達成に繋がります。最低限の使用、節水を目指していきます。
ガソリンの削減 燃費の向上 ・燃費向上目標の説明 ・アイドリングストップ ・急加速・急停止の防止 ・毎日行動方面の打ち合わせをし、無駄な動きの軽減 ・空ふかしをしない ・無駄な荷物を乗せない ・定期点検を必ず行なう ・社用車をハイブリットカーや電気自動車へ切り替える ・タイヤの空気圧の定期点検	基準年度 :5325L 目標 :2,449L 2007年度比-54% 実績 :2,671L 2007年度比 -50%	目標未達成 新しく車を1台増やしたので使用量が増えてしまいました 引き続き燃費向上を目指した活動を行って貰います。
	燃費基準年度:8.5km/L 目標 10.0km/L 基準年度比18%UP 実績 7.37km/L 基準年度比0%UP	目標未達成 今年度は新たに1台追加した為に営業活動や配送先の割り振り等もあり、長距離にならない事が多かった為に燃費の面でも未達成になったものと思われます。毎年ですが夏季の燃費は特に悪かったように思います。使用量や燃費に関しても目標達成出来る様に燃費向上になる運転や活動を行っていきます。
製品及びサービスにおける環境配慮 ・お客さまのニーズに沿った簡易包装に取り組む ・ホームページなどを使い自社のエコ活動の取り組みをアピールする ・生分解性の材料の加工	簡易包装に出来るお客様から取り組み ホームページでのエコ活動の取り組みをアピール	目標未達成 簡易包装については引き続き緩衝材や再利用出来るような配送用の箱もお客様から届いた物を再利用する取り組みは行われています。今年度は4階にあるエアコンを省エネタイプに取り替えていますので電力量削減、環境配慮にも目標に向かっていきたいと思います。
総括 今年度は電力、一般廃棄物の削減は達成出来ました。 他の未達成に関しては見直せる部分はまだあるものと思いますので、そこを集中的に活動意識を高めていきたいと思 います。 全達成目標を目指しエコ活動を取り組んでまいります。		

□ 環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される施設等
騒音・振動規制法	法令:空気圧縮機 大阪府条例:空気圧縮機、マシニングセンター、集塵機
廃棄物処理法	一般廃棄物 大阪市条例:資源可能な紙類の焼却工場への搬入禁止
自動車リサイクル法	自動車
家電リサイクル法	エアコン テレビ 冷蔵庫
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器
毒物・劇物取締法	接着剤
産業廃棄物処理法	産業廃棄物(廃プラ、廃蛍光灯)
消防法	社屋全体
労働安全衛生法	SDSの入手、化学物質のリスクアセスメント

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、違反はありませんでした。
また、過去3年間にわたって、違反や訴訟もありませんでした。

□ 代表者による全体の評価と見直し・指示

今年も材料を始め全ての物が値上がりしました。脱炭素活動に必要な経費捻出の為に価格改定の交渉を2024年度もしていきます。

環境経営方針 ■変更の必要性無し □変更の必要性有り

環境経営目標・計画 □変更の必要性無し ■変更の必要性有り
(2023年実績を踏まえ2024年度目標値を変更する)

実施体制 ■変更の必要性無し 変更の必要性有り